

心をつなぐ大切な言葉

副校長 鳥形 昌子

すがすがしい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。

今年度、南吉田小学校に着任いたしました副校長の鳥形昌子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度の南吉田小学校の児童会スローガンは昨年度に引き続き、「笑顔で結びつなげよう南吉田～キラキラスマイルとふわふわハートでつながろう～」です。このスローガンには、南吉田小学校にかかわるみんなが、笑顔でいられるような、みんなでつながっていけるような学校にしていきたいという思いが込められています。そんな素敵な学校にするために、自分たちに何ができるかということをご代表委員会で話し合い決定しました。そのなかに、「だれにでも元気に挨拶をする」「何かをされたとき感謝の気持ちを伝える」という、挨拶や言葉にかかわる目標があります。

「おはよう」などの挨拶や「ありがとう」などの言葉掛けはなぜ大切なのでしょう。これらは、たった一言の短い言葉ですが、相手の心を温かくしてくれます。ときには、相手の心の扉を開くきっかけになることもあります。なぜなら、私たちがこうした言葉を受け取ったとき、その言葉に込められた相手の心を感じるからです。「おはよう」に込められた『今日もあなたに会えて嬉しいよ』という思い。「ありがとう」に込められた『あなたがしてくれたことに感謝しています』という思い。人と人との間で言葉が交わされるとき、そこには必ず、言葉を発する人の心が表れているのです。

私が以前、6年生を担任していたとき、道徳の学習で子どもたちと読んだ、『一秒の言葉』という詩を紹介しました。日常生活で何気なく発する「一秒にも満たない言葉」に、相手からの心を感じ、相手への気持ちを含めることの大切さが、伝わってきます。心温まる、優しさにあふれた、元気づけられる言葉を、学校で、それぞれのご家庭で、地域で広げ、一緒に『笑顔で結びつなげよう南吉田』を目指していきましょう。



「一秒の言葉」 作 小泉 吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある
「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある
「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で 幸せにあふれることがある
「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さをみることもある
「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになるときがある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒
人は生きる